

≪経営分析参考指標≫
 医療法人(平成 29 年度決算分)
 ～概要～

収支の状況

区 分				医療法人
				平成 29 年度
法人数（法人）				1,284
1 法人当たり従事者数（人）				368.6
収 支 の 状 況	収 益	総収益構成比（％）	事業収益	97.4
			事業外収益	1.9
			特別利益	0.7
	費 用	事業収益に対する 事業費用の割合（％）	人件費	57.9
			医療材料費	12.3
			給食材料費	3.0
			経費	20.5
			減価償却費	4.6
			計	98.3
事業収益対事業利益率（％）				1.7
経常収益対経常利益率（％）				2.3
従事者 1 人当たり事業収益（千円）				9,134
労働生産性（千円）				5,444
従事者 1 人当たり人件費（千円）				5,289
労働分配率（％）				97.1
経常収益対支払利息率（％）				0.7

（注 1）従事者数は、非常勤職員及び委託職員については「常勤換算※ 1」を行っています。

（注 2）給食材料費には、給食委託費を含んでいます。

（注 3）数値は四捨五入しているため、内訳の合計が合わない場合があります。

経営指標一覧（医療法人）

経営指標	算式	説明
人件費率	人件費 ÷ 事業収益	- 事業収益に対する人件費の占める割合を示す指標です。 - 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
経費率	経費※2 ÷ 事業収益	- 事業収益に対する経費の占める割合を示す指標です。 - 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
減価償却費率	減価償却費 ÷ 事業収益	- 事業収益に対する減価償却費の占める割合を示す指標です。 - 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
事業収益対事業利益率	事業利益 ÷ 事業収益	- 本業である事業収益から得られた利益を示す指標です。 - 本指標の値が高いほど収益性が高い事業といえます。
経常収益対経常利益率	経常利益 ÷ 経常収益	- 本業である事業収益に受取利息等を加えた、法人に通常発生している収益から得られた利益を表す指標です。 - 本指標の値が高いほど収益性が高い事業といえます。
従事者 1 人当たり事業収益	事業収益 ÷ 年間平均従事者数	- 従事者 1 人当たりどの程度の事業収益を得ているかによって効率を判断する指標です。 - 本指標の値が大きいほど職員の収益獲得力が高いことから収益増加あるいは費用削減に寄与することになります。
労働生産性	付加価値額※3 ÷ 年間平均従事者数	- 従事者 1 人がどれだけの付加価値を生み出したかを示す指標です。 - 本指標の値が高いほど、各々の従事者が効率よく価値を生み出し、円滑な運営管理が行われているといえます。
従事者 1 人当たり人件費	人件費 ÷ 年間平均従事者数	- 従事者 1 人にかかる平均人件費から給与水準を示す指標です。 - 本指標の値が小さいほど費用削減に寄与することになります。ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
労働分配率	人件費 ÷ 付加価値額※3	- 付加価値が人件費にどれだけ分配されているかを判断する指標です。 - 本指標の値が低いほど利益の割合は高まります。ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
経常収益対支払利息率	支払利息 ÷ 経常収益	- 経常収益に対する支払利息の占める割合を示す指標です。 - 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。

※1「常勤換算」は次の式で算定しています。

常勤換算＝当該職務にかかる全非常勤職員の1週間の総勤務時間数÷当該職務にかかる常勤職員が1週間に勤務すべき時間数

※2「経費」は次の式で算定しています。

経費＝事業費用－（人件費＋医療材料費＋給食材料費＋減価償却費）

※3「付加価値額」は次の式で算定しています。

付加価値額＝事業収益－（経費＋医療材料費＋給食材料費＋減価償却費）